

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		こども発達支援coconone				公表日 2026年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		グループは少人数になるようにしたり、個別支援を複数同時に行うときにはお部屋を分けるなどの工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		加配を1名配置しております。また、医療的ケアが必要なお子様が通所される際には看護師も配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		スロープや車椅子でも使用可能なトイレと手洗い場を用意しています。また、全てのお部屋の室温が一定になる換気システムを導入しており、夏も冬も快適に過ごすことができます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃を毎日行っております。活動に合わせて環境を設定することで、活動に集中しやすく安全な環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		何も置いていない個室も用意しており、必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎朝、全ての正職員で打ち合わせを行っており、必要な改善点等があった場合には対策を含めて共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向けアンケートを年1回実施しています。また、親子通所のため、気になる点については都度教えていただき、改善を図っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期面談を設けており、職員の意向を確認するとともに事業所の方向性もお伝えし、改善に向けた対応を共有しています。また、日常においても互いに声をかけあい、課題等の改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は実施していませんが、見学者を積極的に受け入れ、外部からの視点をもらうなど開かれた場所になるようにしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職場内での研修を実施しています。また外部研修については案内を共有したり、研修動画については勤務時間内で視聴してもらうなど自己学習できるようにしています。	次年度については、1人1回以上外部研修に参加できるよう検討しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		COPMやGMFM、ROM、KIDS等、お子様の状況に合わせて客観的評価ツールを使用し、計画立案に活かしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援後に行う振り返りの中で、お子様の興味や成長等の変化や関係機関での様子などを共有し、計画の立案に活かしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		担当以外も計画書を確認したり、また支援が始まる前に目標を職員で確認するなどして、計画書に沿った支援になるようにしています。	支援に計画書の内容をより活かせる仕組みづくりについて検討していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人とご家族の願に基づき、各項目での目標および支援内容を設定しております。また、目標については可能な限り、具体的に、達成の有無を明確にできるようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		グループは保育士と理学療法士で立案しています。個別は担当が立案していますが、必要に応じて他の職員に相談しながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		お子様の興味や発達、季節等を考慮しつつ、静的活動と動的活動を組み合わせるようにしています。プログラムを固定することで見通しが立ち、安心して参加できるお子様にはプログラムを固定させる等、状況に合わせて対応しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		基本的にSOAPに基づいて記録し、支援の改善に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要性に応じて、可能な範囲で連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		併行利用の場合は、園と情報の共有を図っています。	この春に初めて通所児童が保育所等へ移行するため、入園決定後、必要に応じて保護者様の同意の下、情報共有を図っていく予定です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			この春に初めて通所児童が小学部へ移行するため、入学決定後、必要に応じて保護者様の同意の下、情報共有を図っていく予定です。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		当事業所は、肢体不自由児が主な通所児童のため、「さんりんしゃ」さんに相談するケースはいなかったのですが、必要に応じて「こどもつくる」さんと連携し、情報を共有したり助言をいただいております。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			当事業所は、運動発達に関する専門的な支援を実施しており、地域での交流機会は少ない状況です。今後は、地域の保育所等との交流について検討していきます。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		親子通所のため、通所の都度、体調や家庭での様子を共有するとともに、支援のねらいやお子様の変化についても共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアトレは実施していませんが、親子通所のため、支援の都度、関わり方や必要な情報については情報提供をしています。	家族で参加できる研修や機会を検討しています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子様本人と保護者様の意向をCOPMをもちいて確認し、半年後には支援の結果、どのように変化したのかをCOPMで再評価してもらっています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		親子通所のため、通所の都度、家庭での様子等を確認しております。また、相談があった際には、相談内容に応じて適切な職員が対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	グループ支援時には、保護者同士が交流しやすいように配慮しています。	来年度は、保護者交流会やきょうだい支援についての企画を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった場合には、可能な限り、その場で対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	通信等は発行していませんが、準備が必要な活動の事前の連絡等、事業所からの連絡については、LINE等を活用し、共有しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて絵カードでの提示を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		当事業所は、運動発達に関する専門的な支援を中心に実施しているため、地域住民との交流機会は少ない状況です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは策定しています。防犯訓練等、一部まだ実施していない訓練については3月末までには実施予定です。	来年度は、利用者様のご理解を得た上で、利用者様のいる時間帯に発生を想定した訓練をいくつか実施できるよう準備する予定です。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			同上
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事支援やおやつ提供などはしていません。また、親子通所のため口にするものについては保護者様に管理してもらっています。遊びの材料として食物を使用する場合には、アレルギーに関するアンケートを確認するとともに事前に保護者様にも確認をとった上で実施しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		マニュアルを設置していますが、周知については不十分なため、今後対応していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案が発生した時には、当日中に職員間で共有し、対策を講じています。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会として動画の視聴等により研修を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			